



教育センター・育成センター所報

GALILEI

2013.12.25 防災教育講演会（ソフィアセンター）



教職員と市民が
ともに学びました



ドナルド・キーンの世界（キーンセンター）



日本語の正しい使い方（新潟産業大学）

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
 - ★「Nobody's Perfect～完璧な親なんていない」
教育センター運営委員
子育て支援センター 所長 村田 志保子
- 教育センターだより P 2
 - ★アクセス（教育研究班） P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 5
 - ★心の窓（教育相談班） P 9
- 2月の行事予定表 P 11
- 所員随想「つれづれ」 P 11
 - ★やってみなければわからない
教育研究班・科学 専任所員 庭山 千佳子

平成26年1月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

「Nobody's Perfect～完璧な親なんていない」



教育センター運営委員
子育て支援センター 所長 村田 志保子

私が勤務する元気館には、真冬の吹雪の日でも親子連れ（祖父母・孫連れ）のお客様が大勢いらっしゃいます。クリスマス会、豆まきなどイベントの日には100組を超える親子でホールがいっぱいになります。1980年代前半に出産し、産休明けから仕事を続けてきた（当時育児休暇がありませんでした）私は、こんな子育ての時間も過ごしてみたかったなあと時々羨ましく思います。しかし、実際の産休中は、何をやっても泣き止まない新生児を抱えて一緒に泣いて過ごしたり、一晩でいいからゆっくり寝たいと切実に思ったはずですが。仕事復帰はある意味育児から解放され、自分のペースを取り戻せる時間になっていたのも確かです。

今も昔も、初めから一人前の親などいません。みんな悩みながら周りの助けを得ながら親になっていきます。昔と違うのは少子化や地縁の希薄化により、身近な子育てモデルや周りの助けが得にくくなっていることです。今は親になるためのスキルを身につける手助けが必要とされるわけです。

子育て支援センターでは、週1回全6回の託児付き講座「完璧な親なんていない～楽しく子育て講座」を年2回開催しています。カナダ生まれの子育て支援プログラムで、講座といっても、ただ黙って話を聞くのではなく、互いに話しあったり、さまざまに工夫された体験学習を通して楽しく学ぶものです。毎回ママたちは日ごろの子育てを振り返り、困っていることについて、どうしたらよいかアイデアを出し合います。自分だけがダメな親だと思っていた人が、他のママも同じ悩みを持っていたことを知って安心したり、話し合いの中から自分の長所や能力に気づき自信を回復していきます。「完璧でなくてもいい、今頑張っていることが大切と強く思うようになった」「子どもの成長に合わせて自分もゆっくり母親になれるように頑張りたい」「大変な時は一歩立ち止まって考えるようになった」など、参加したママたちの自己肯定感は確実に向上します。

子どもの成長発達を支援するときに、支援者は親に対する期待度がどうしても高くなる傾向があり、親の養育態度を批判的に捉えてしまうことがあります。そんな気持ちが親に伝わり、親は自分を責める・自信をなくす、あるいは支援者を拒否するなどの結果を招いてしまう場合も少なくありません。完璧な親がないように、完璧な支援者なんていないのかもしれませんが、親に寄り添う視点を忘れないようにしたいものです。

■実施研修講座を振り返って

ルールと伝えるのではなく、人としての在り方を考えさせる指導を

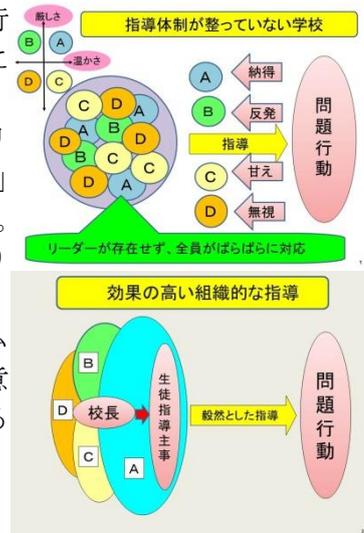
◆1/17(金) 生徒指導「全校体制で進める毅然とした生徒指導、その本質と事例」

講師 学校教育課 上野忠英 指導主事 事例発表 第一中学校 杉谷 明 教諭

この講座は、まず、杉谷先生からは、「毅然とした生徒指導を組織的に行うためには共通理解のもと一貫性のある指導を自信をもって行う」事例に触れていただきました。

その後、上野指導主事からの指導となりました。そこでは、「教職員のリーダーが存在せずバラバラな対応」と、「校長を中心とした組織的な指導」の対比や、目指すべき「効果の高い役割分担的指導」の説明もありました。(図参照) これらを通して「ルールと伝えるのではなく、人としての在り方を考えさせる指導の重要性にも触れました。

参加した先生方の感想の中に「杉谷先生のお話はとても具体的でチーム対応の必要性がわかりました」「上野指導主事の言う、『毅然とした』の意味がわかりました。学校が変わると感じました」等、研修のねらいに迫る記述が多くありました。



■市民とともに学んだ3講座

大津波から生き抜いた子ども達の奇跡ではない釜石の軌跡

◆12/25(水) 防災教育講演会

講師 岩手県岩手郡滝沢村立滝沢東小学校長 加藤 孔子 様

この講座は昨年度、お越しいただいた群馬大学大学院、片田敏孝教授の防災教育講演会に引き続き設定しました。講師には、震災当時、津波浸水区域にあった釜石市立釜石小学校の校長先生として184人全員の子どもの命を守った、現、滝沢郡東滝沢小学校長、加藤孔子先生にお願いをしました。

その中で、地震発生から約30分後に津波が押し寄せ、一瞬にして子どもたちの家が流された中での初期対応の実際と、そのためには普段の人間関係が重要であることを力説いただきました。また、数日後に児童全員の無事を確認したときのお話や避難場所や高台に避難した子どもたちから「学校で学んだことを思い出して行動しただけ」と聞いたこと、あるいは高齢者に高台への避難を呼び掛けた児童もいたこともお話いただきました。

そして、最後には「津波から命を守ることを後生に伝えるのは子どもたち」ということの意味と、継続して防災教育を行っていくことの重要性について語っていただきました。

参加された先生方の感想として「実際に子供たちを避難させた責任者としての、身に詰まる思いを感じた」「防災教育とは普段の人間関係が重要という、当たり前のことを改めて学んだ」等、柏崎市の教職員はじめ市民の防災意識や危機管理能力を高めことにつながった講演会であったことが伺えるものが数多くありました。



講師の加藤孔子先生

普段使っている日本語を振り返る

◆1/16(木) 日本語の正しい使い方
講師 新潟産業大学長 北原 保雄 様

この講座は教養シリーズとして、教職員約50名と市民の100名ほどの参加者のもと、北原保雄新潟産業大学長を講師にお招きし、いかにも大学らしいアカデミックな講堂で行いました。

冒頭、「上」「必」などの筆順に触れながら「時代とともに変化するものだが、文化として大事なもの。学校できちんと教えてほしい」とお話されました。また、難読の地名を取り上げ漢字制限がないことや、人名では漢字制限はあることにも触れられました。その中で「男」を「アダム」、「黄熊」を「プー」と読む事例を取り上げ、会場を沸かせました。最後には松尾芭蕉の「荒海や 佐渡によこたふ 天の川」の句について、自動詞、他動詞の違いから説明を行う場面もあり、日本語を改めて見つめ直す機会になりました。

参加した先生方の感想の中には「教師として、日本人として、日本語の理解を進めることの大切さを感じた」「自分の幅を広げる機会になった」等、教職員向け教養シリーズとしての成果を感じ取れる内容が多くみられました。



講師の北原保雄 大学長

教育の力で、柏崎の文化の発信を！

◆1/18(土) 楽しく学ぼう！ ドナルド・キーンの世界
講師 ドナルド・キーン・センター柏崎 スタッフの方々 西澤 翔 様

この講座は、昨年開館したドナルド・キーン・センター柏崎を会場に、教職員、市民約90名が参加する講座でした。この単なる施設紹介ではありません。キーン先生の生き方を感じ取った人たちが職種を越えてつながること、そのつながりが柏崎の文化を発信していく原動力になることを学校教育・社会教育の現場で伝えてもらうことがねらいです。

第1部では、キーン・センターのスタッフの方が、キーン・センターの開館までの経緯などを説明されました。約100人のボランティアが同センターを支えているとし、「地域内外から柏崎を見てもらえる良いチャンス。市民の活動が歴史に刻まれていくと思う」などと述べられました。

続く2部では、ボランティアスタッフの一人、西沢翔さん（新潟市）がキーン氏訳『『おくのほそ道』の世界』を読み解かれました。キーン名誉教授が英訳で書いた「おくのほそ道」は「センター試験問題よりお格調が高い」と述べられました。参加した先生方の感想として「キーン・センターを柏崎の誇りとして、その良さを子どもたちに伝えたい」、「偉大な作家との交流など書簡の展示は大変意義深い。一刻も早く学級の子どもに伝えたい」という記述が多くみられ、教育の力で文化的価値を伝えていくことの意義を感じた講座であったことが伺えました。



講師の西澤 翔 様

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆ 柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
12/24	デジタルビデオ編集入門 デジタルビデオ編集入門.pdf (第2版)

■ 情報関連講習会のご案内

2月に実施される講習会

◆ H26.2.18(火) スクールオフィス年度更新講習

スクールオフィス管理者向けの講習です。次年度用データの準備手順、学校基本情報管理の年度更新作業、年度末や年度始めに必要な処理について学習します。管理者以外の方が受講していただいても構いませんので、管理者の役割を部分的に委譲する際の参考にさせていただきます。

◆ H26.2.25(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その9

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ スクールオフィス情報

学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖発生した場合の行事等の登録

(1) 学校閉鎖、学年閉鎖が発生した場合の登録

- 「学校行事の設定」画面から、学校行事または学年行事として閉鎖情報(「〇〇による学校閉鎖」など)を登録する。このとき、「時間」の欄は必ず「指定なし」に、「休み区分」を「休業日」にすること。



(2) 学級閉鎖が発生した場合の登録

- 必須ではありませんが、どのクラスが閉鎖になっているかがわかるように、「学校行事の設定」画面から、クラス行事として閉鎖情報(「〇〇による学級閉鎖」など)を登録する。このとき、「休み区分」を「設定なし」にすること。
- 保健管理の健康観察記録の「登録」画面から、当該クラスの全員を出席停止扱いとします。(「停・忌・公欠」をクリックして理由を選択します。なお、罹患者との区別は、健康観察記録のマスターで「停・忌・公欠」の名称と記号を区別できるように登録しておけば、「月別健康観察表」で確認することが可能です。出力される出席簿上では区別はできません。)

【補足】(時数管理を利用している場合のみ) 週案の授業カードのクリア

- 週案の作成画面で、閉鎖となる日に授業カードが設定され、確定で時数が累計されてしまっている場合は、一旦確定を解除して授業カードをクリアする必要があります。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報(Windows)

マイクロソフトより、1月15日付で1月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が0件、「重要」が4件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

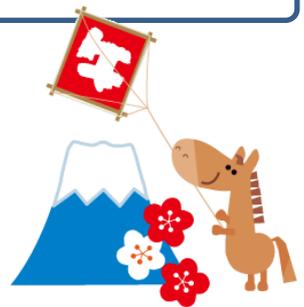


明けましておめでとうございます
今年もよろしくお祈いします



旧年中は当センターの事業にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。
本年も皆様のニーズにできるだけお応えできるよう、努力していきたいと思ひます。
どうぞよろしくお祈いいたします。

研修会・事業の様子



○要請研修	剣野小学校 5年	放射線教育	1月 9日実施
	荒浜小学校 5年	放射線教育	1月 22日実施
	剣野小学校 2年	放射線教育	1月 23・24日実施

◇内 容

前半は、放射線の飛跡を観察して、身の回りには自然放射線が飛び交っていることを知り、放射線の特徴から放射線の利用について学びました。後半は放射線の特徴から多量に浴びることになってしまった時の危険性を考えさせました。事故等で放射線が多量に放出されてしまったとき、よりよい命の守り方を学びました。



放射線測定器を使ってみる

○生活科研修 大豆が変身「とうふづくり」 1月16日実施

◇内 容

「大豆から、手作り豆腐を作ろう」と豆腐作りの実習をしました。当初の計画では、センターで栽培した大豆で豆腐作りを・・・という計画でしたが、残念なことに失敗してしまいましたので、市販の大豆で行いました。この教材で、どんなことを子どもたちに学ばせることができるのか、参加して下さった先生方と語りながら活動しました。スーパーなどで案外安く手に入る豆腐ですが、実際に作ると結構大変な作業であることを知ったり、大豆を育てる過程で自然や人とのふれあいが期待できたりすることなど、多くの学びが隠れています。ぜひ、学校で豆腐作りをやってみたいという方はセンターまでご相談ください。



グループで豆腐作りに挑戦

実習で作った豆腐のできあがりには、豆の味がしっかりとした甘い豆腐になりました。木綿豆腐をはじめ、おぼろ豆腐、湯葉やおからクッキーなども楽しむことができました。



簡単おからクッキー

簡単おからクッキーの作り方

<材料>

おから（生でなく、炒るか電子レンジで加熱する）
おからと同量のホットケーキミックス
卵・とかしバター・牛乳適量

<手順>

- ①材料を混ぜる。
- ②クッキングシートの上に丸く平らに広げる。
- ③オーブントースターで焼き目がつくまで焼く。



豆腐のできあがり

参加した方の感想

- 「担当教科が家庭科なので加工食品の分野で実習できそうです。食育にも取り組んでいきたいので、地域の人からもご協力いただいて形にしていけたらと考えています。」
- 「小学校3年生の国語『すがたをかえる大豆』の単元と絡めて子供たちと実習できると思いました。」
- 「大豆作りから子供たちとできれば、食のことを考えるいい機会となりそうです。」

教材紹介

当センター 一番人気!!!

当センターの貸出可能な教材を紹介します。

☆アクリルパイプ堆積実験装置

〔 小学校6年生「大地のつくりと変化」・中学校1年生「大地の変化」
小学校5年生「もののとけかた」・中学校1年生「水溶液の性質」 〕

小学校「大地のつくりと変化」・中学校「大地の変化」では堆積実験装置として、小学校「もののとけかた」・中学校「水溶液の性質」ではシュリーレン現象を見せるときに便利な道具です。直径5cm、長さ50cmのアクリルパイプで、下には大きなゴム栓がついています。普段、メスシリンダーを使うことが多いかと思いますが、このアクリルパイプには目盛がなく、表面が曇りにくいので大変見やすいです。センターには8台あります。

※シュリーレン現象・・・水のような透明な液体の中で塩やコーヒーシュガーなどの溶質がしま模様や、もや状の影を出しながら溶けていく現象のこと。



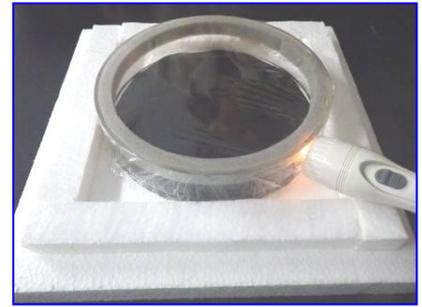
☆金属球膨張試験器（小学校4年生「ものの体積と温度」）

金属球膨張試験器を8セット用意してあります。多くの児童が観察・実験を主体的に行うためには、教材の数や見通した準備が必要です。学校の備品ではちょっと数が足りない！という時に、どうぞご利用ください。



☆放射線観察用霧箱（小・中学校「放射線に関する授業」）

今年度、放射線に関する授業は行われましたか？自然放射線を観察できる霧箱9セットをセンターで用意してあります。製作そのものは簡単ですが、大型シャーレが学校になかったり、製作時間がとれなかったりする場合には遠慮なく声をかけてください。ただし、観察の際に必要なエタノールとドライアイスは各学校で用意をお願いします。具体的な実験方法やドライアイスの注文先など分からない場合は、センターまでお問い合わせください。



霧箱観察セット



放射線の飛跡がすじ状に見えます

☆放射線観察用ペルチェ素子霧箱

（小・中学校「放射線に関する授業」）

上記の霧箱は実験を成功させるのにややコツが必要です。ただ放射線を観察させたいだけであれば、こちらの装置がおすすめです。

ただし、小型のために自然放射線を観察するには向きません。実際の観察でも線源を入れて観察します。なお、装置のほかに消毒用エタノール（右写真参照）が必要です。

（実験用の99.5%エタノールではうまくいかないのでご注意ください。）



☆豆腐作りセット（生活科などで）

豆腐作りにチャレンジしてみませんか？豆腐の型10セット（こし布付）、ミキサー2台が貸出可能です。ミキサーは食品用に新しく購入したものであるため、理科センター備品といえどもご心配なく。普段スーパーで安く売られている豆腐ですが、手作りすると意外に重労働で、材料費も高くなります。でも海水由来のにがりを使うなど、先人の知恵や食品加工の大変さを実感した上でおいしくいただけるので、よい教材だと思います。



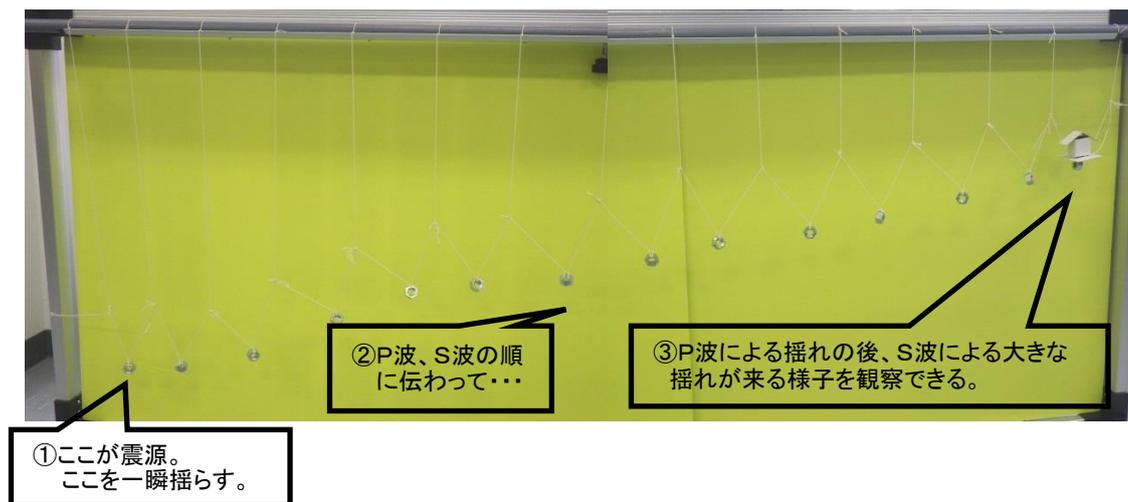
豆腐の型（木枠）



ミキサー（食品用）

☆地震波観察装置（中学校1年「動き続ける大地」）

過去に何度か理科センターで紹介された、地震波を観察する装置をちょっと改良したものです。従来のものはおもりの高さが同じだったのですが、地下から伝わってくるイメージを持たせるために、震源のおもりの位置を低くしました。塩ビパイプを黒板のチョーク置きのところにおいて観察します。震源を揺らすとP波、S波それぞれを一度に観察できる優れたものです。是非ご活用ください。（もしかしたら各学校の準備室に埋もれているかもしれません。）



教材・教具づくり、承ります！

まもなく年度末を迎えます。今年一年の授業を振り返った中で、「あの道具が班の数分あればよかった。」とか「あの教具がほしかった。」というものはありませんか？当センターは冬期間、時間的に余裕があるので材料持参、または材料費を負担していただけるのであれば製作を承ります。

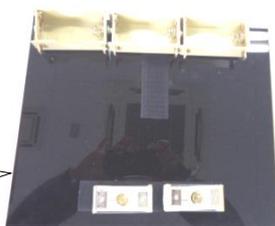
なお、材料によってはセンターに大量の在庫がある場合もあるのでお譲りすることも可能です。新年度準備の一つとして不足しているものを思い起こし、お気軽に声をかけてください。

例えば…



演示用電気回路

ゴム栓・ガラス管・ゴム管のセット

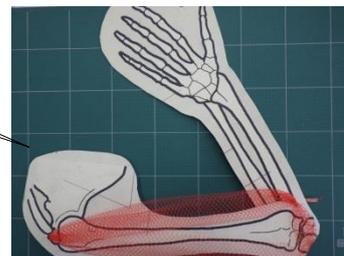


磁力線観察用鉄線チップ



月の満ち欠け観察モデル

腕の筋肉モデル



心の窓

No.173

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

～キレル子どもの理解と対応～

「自分の持ち物を触られた程度でキレてしまい、他の児童へ暴力を振るう子」「うまく字が書けなかった程度のきっかけでイライラし始め、遂には物を投げたりノートを破ったりしてしまう子」「親の前では大人しく良い子に見えていても、学校で激しくキレル子」・・・etc.

教育相談・巡回相談の中で、保育園・幼稚園や小学校の先生方からよく相談される悩みです。

感情コントロールができず、集団活動に支障を来している子どもがいて、最近では「発達障害」という認識や見立てで理解・対応しようとする傾向が一般的になりました。確かに、その枠組みによる理解も有効ではありますが、「キレル」という問題は発達障害の有無とはまた別の問題であることを認識する必要があります。

臨床心理士で教育心理学者の東京学芸大学の大河原美以先生は、著書『怒りをコントロールできない子への理解と援助／教師と親のかかわり』の中で、感情のコントロールや感情制御能力の発達は、発達特性を有している子どもたちに限らず、定型発達の子どものうちであっても、大人の関わり方いかんで阻害されることを指摘しています。そして、そのメカニズムを次のように解説しています。

・・・(中略)・・・「身体が感じている感情を発し、大人にその感情を承認され言語化され、安心する」というプロセス、つまり、子どもが身体が感じている負の感情(大脳辺縁系) ⇒ 大人にその感情を承認されて言語化される(前頭前野) ⇒ 安心する(辺縁系)、という3つのプロセスの経験の積み重ねによって、子どもの感情制御の機能は育っていく。子どもが痛いと泣いているのに「痛くない、痛くない!」、或いは、怒っているときに「そんなことで怒らない!」「それくらい大丈夫!」という声掛けで子どもの生体防御反応が否定される結果、子どもは「安心」を獲得できないまま、大人の前では良い子なのに別のところでは激しくキレルという二面性を備えていく。(中略)・・・

そして、大人の関わり方としては、基本的には以下のプロセスを踏まえることが重要であると大河原先生は主張しています。

- ① 身体で感じている不安やイライラなどの否定的感情そのもの否定せず
- ② 不安や怒りがあることを認め
- ③ 言語化を促し
- ④ (リラクゼーションなどにより)安心感を添えて、和らげ
- ⑤ 安心に至る方法を伝授し、これで大丈夫、と保証を与える

虐待やネグレクト、など、不適切な養育環境にある場合は当然ですが、熱心に子育てをして、「弱音を吐かない」「嫌なことを言わない」「泣かない」良い子に育てようとしている親の場合も、結果として同じ「キレル」という問題が生じる危険性があると大河原先生は警鐘を鳴らしています。

子どもは、生まれて最初から感情のコントロール能力を備えているわけではありません。6歳までの間に獲得できずにきた感情制御の力を、小学校からの経験の中で獲得させ、その発達を促すこと。トップダウンのその場限りの禁止・制御でなく、子どもの側の負の感情をも受け止め、安心へと変化するプロセスを体験させること。それが教育であると大人が腹をくくる必要があるのでしょうか。

(文責: 小林東)

☆ふれあいルームより☆

～スケート体験活動①～

ふれあいルームの冬の恒例行事「スケート体験活動」を12月17日、アクアパークのスケートリンクをお借りし行いました。スケート初体験の子、久しぶりに滑る子、すいすい滑れる子といろいろですが、みんな一緒に楽しい時間を過ごしました。手すりから、なかなか離れられない子の側にずっと付きそって、一緒に滑ってあげたり、スケートリンクの真ん中で気持ち良さそうに寝そべったりと、普段の活動の中ではなかなか見られない優しい笑顔や大きな声で話し、はしゃぐ通級生の姿を見ることができました。広い場所で思いっきり笑い、体を動かして心と体のエネルギーをたっぷり充電することができました。



～書き初め・お題「自由に書く！」～

ふれあいルームの今年の書き初めは「自分の好きな言葉、絵、自分の思いを自由に書いてみよう！」というお題でした。「自由に」というと自分で考え、表現するということが苦手な子にとっては戸惑ってなかなか進まないことが多いのですが、和やかな雰囲気も手伝ってか、みんなスラスラと気持ち良さそうに筆を動かし、思い思いの言葉や形を白い紙に書いていました。外に発信する力が少し足りない通級生ですが、今年もふれあいルームでのいろいろな体験を通して、力を蓄え、また外に飛び出して欲しいと願います。



教育相談班 2月の予定

《カウンセリングルーム》

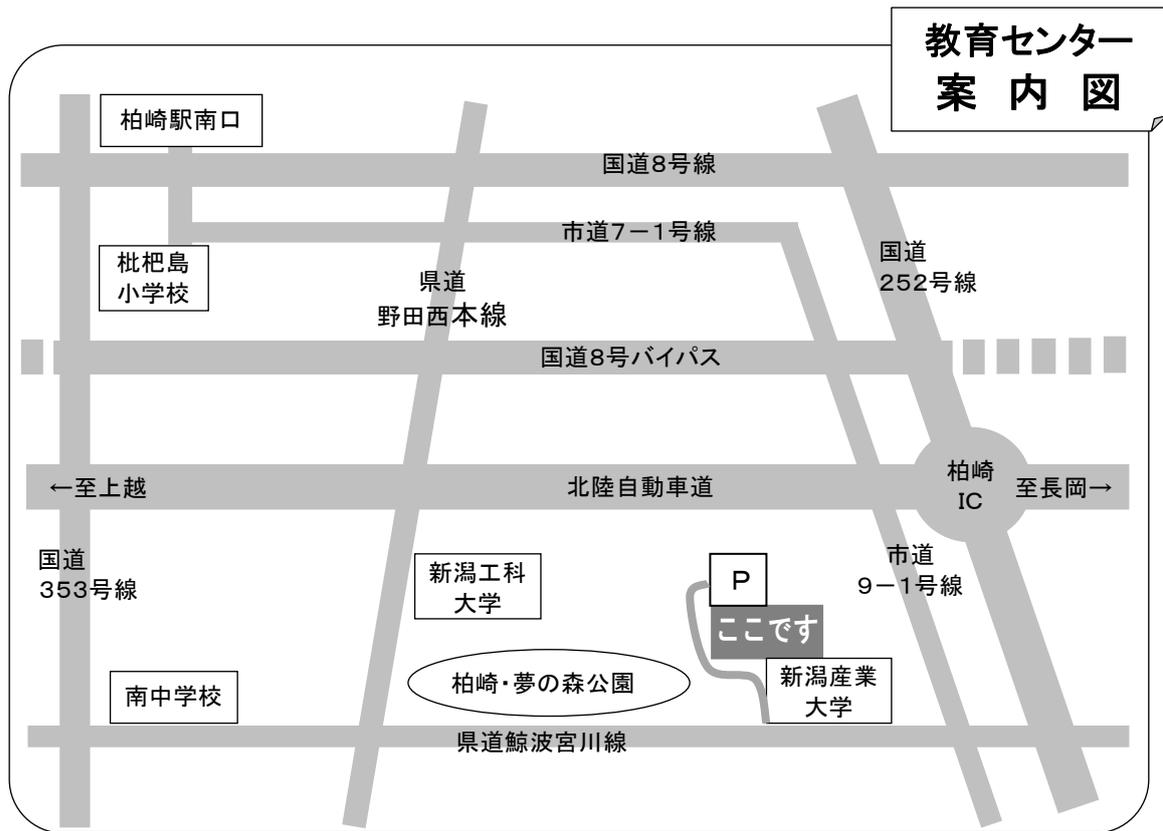
いろいろ体験グループ (SST)

- 7日(金) 16:30～17:30 小学生Aグループ
- 14日(金) 16:30～17:30 小学生Bグループ
- 21日(金) 16:30～17:30 小学生Cグループ
- 27日(木) 18:30～20:00 中学生第1グループ
- 28日(金) 18:30～20:00 中学生第2グループ



《ふれあいルーム》

- 5日(火) スキー教室
- 20日(木) バス課外活動
- 28日(金) 3送会、中3生通級終了



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができます。ほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システムURL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年1月発

=====